



Business Report

株主の皆さまへ

2010年3月期(第13期)の中間ご報告
(2009年4月1日～2009年9月30日)

Creation of New Entertainment



MEV
Marvelous Entertainment Inc.

経営理念

音とゲームと映像を融合させた新しいエンターテインメントの創造

Mission（使命）

Entertainment Spirits!!
楽しみましょう。楽しませましょう。

行動指針

1. 法令の遵守
2. 商品・サービスの品質保証
3. 社内ルール of 遵守
4. 不正行為の撲滅

目次

事業紹介	1
トップメッセージ	2
事業概況	
音楽映像事業	4
デジタルコンテンツ事業	5
舞台公演事業	6
連結財務諸表（要約）	7
アンケート結果のご報告	8
株主優待のご案内・株式概要	9
会社概要・株主メモ	裏表紙

さまざまなメディア、さまざまな国・地域で音と

事業紹介

音楽映像事業 Audio & Visual

キャラクターやコンテンツをベースに、音楽商品
や映像商品の企画制作・商品化を行います

アニメーションを中心としたCDやDVDなどの音楽・映像
作品の企画・制作・販売を行っています。専属アーティストの育
成やコンテンツの配信にも積極的に取り組んでいます。



ゲームと映像を融合させた新しいエンターテインメントを創造します

デジタルコンテンツ事業 Digital Contents

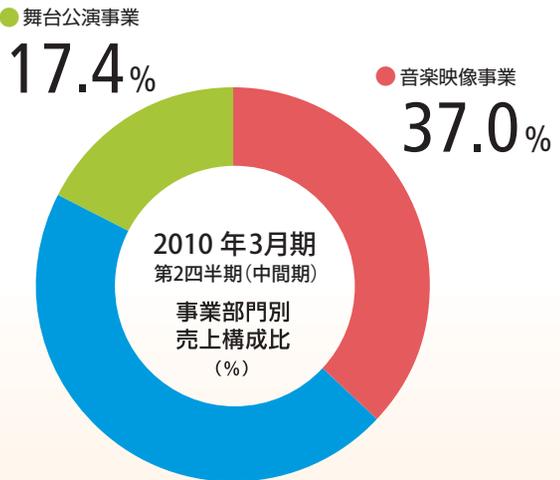
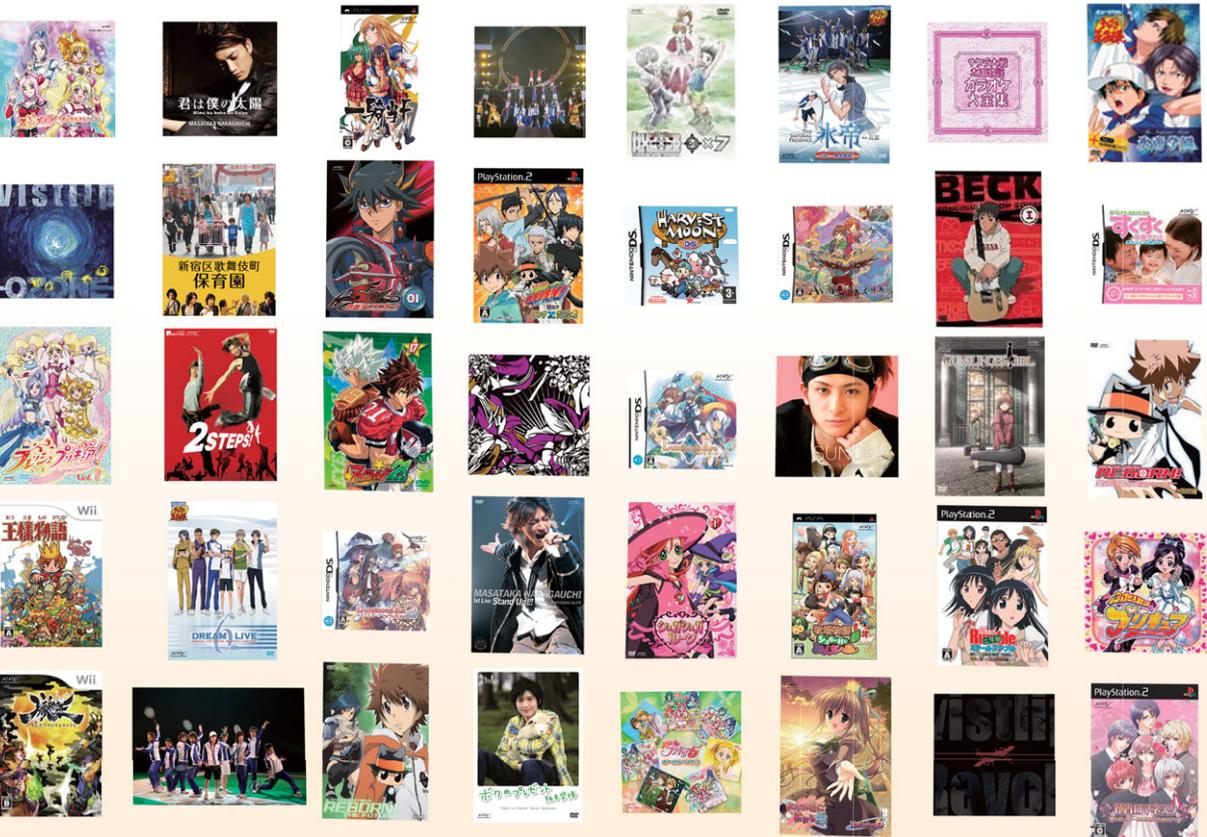
家庭用ゲームを中心としたエンターテインメントコンテンツの企画・開発・発売を行います

家庭用ゲーム機向けのゲームソフトを、国内および海外において発売しています。常に自由で独創的な企画の開発を進め、ヒットシリーズ「牧場物語」に代表されるような、未永くお楽しみいただけるコンテンツの開発を推進しています。

舞台公演事業 Show Business

ミュージカル、舞台公演などの“リアルコンテンツ”の企画・制作・興行を行います

五感でエンターテインメントを感じることでできるミュージカルなどの“リアルコンテンツ”の企画・制作・興行を行っています。この分野における第一人者として、社会現象化した「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズをはじめ、新たな驚きと感動を与える作品を提供しています。



見通しに関する注意事項
 本冊子に記載の予想数値は、本冊子の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績は本冊子で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

コンテンツ投資の集中と選択、収益機会の拡大と各種コストの削減により経営効率を

厳しい経営環境の中、損失計上を余儀なくされましたが、経営効率向上の取り組みに、一定の成果をあげました。

当第2四半期(中間期)の当社を取り巻く環境は、音楽・映像市場においては、新しいメディアであるブルーレイが着実に成長を続けたものの、市場全体の縮小傾向には歯止めがかからず、前年割れとなりました。ゲーム市場においては、世界的な金融危機が实体经济にも波及する中で、国内外ともに販売環境が悪化し、大型タイトルの発売が少なかったことも加わり、ハード市場、ソフト市場ともに前年を下回りました。

このような環境の中、当社は新たな収益の柱となる主力コンテンツの創出に向けて、コンテンツの絞り込みを行いつつも積極的な投資を進めました。また、高収益体質への転換に向け、ブルーレイや配信市場への対応など収益機会の拡大と各種コストの削減に取り組みました。

この結果、当中間期の業績は、売上高43億47百万円(前年同期比0.2%増)、営業損失2億64百万円(前年同期営業損失3億28百万円)、経常損失3億円

(前年同期経常損失3億7百万円)、四半期純損失2億79百万円(前年同期純損失2億37百万円)となりました。

売上高は前年同期と比較して微増にとどまったものの、音楽映像事業においてコストの見直しにより大幅に利益率が改善したこと、本社移転や組織の合理化など経営効率向上の取り組みが進んだことにより、利益面では改善を図ることができました。

競争力の確立と経営効率の向上に注力していきます。

当社の事業領域であるエンターテインメントコンテンツ業界では、高速通信環境の普及によるコンテンツ配信市場の台頭やブルーレイなどの大容量メディアの登場、「プレイステーション3」や「Xbox 360」といったハイエンド・ゲーム機の普及など、激しいメディアの変化が起きている。当社は、これらの変化に柔軟に対応し業績回復を図るべく、新たな中期戦略の基本方針として、①ライブラリの拡充、②高収益体質への転換、③財務体質の強化、

代表取締役社長
中山 晴喜

高めることで、高収益体質への転換と財務体質の強化を目指します。

という3つの指針を掲げ取り組んでいます。

メディアが複雑化する中、市場におけるシェアを確保するため、「競争力=強力なコンテンツを保有・創出し続けること、それらをマルチユースする事業展開」、という位置付けのもと、コンテンツへの投資は厳選しつつも積極的な投資によるライブラリの拡充を図り、強力なコンテンツホルダーを目指します。また、映像コンテンツ、ゲームコンテンツともに新旧ライブラリを最大限活用し、配信市場や新たなメディア・プラットフォームへの投入を積極的に進め、収益機会の拡大による経営効率の改善に努めます。さらに、経営効率の改善については、すでに本社移転および組織の合理化を行い、固定費の圧縮を進め一定の成果をあげていますが、下期にはゲーム開発の拠点も本社内に統合するなど、より一層の効率化を図ります。

財務面に関しては、新たな投資に向けて、2009年4月に第三者割当増資により約5億円の調達を行うなど、資本の増強にも努めています。加えて、前述の各種経営効率改善施策の取り組みにより、高収益体質への転換を実現し、キャッシュ・フロー

重視の経営を徹底することで、有利子負債の圧縮など財務体質を強化いたします。

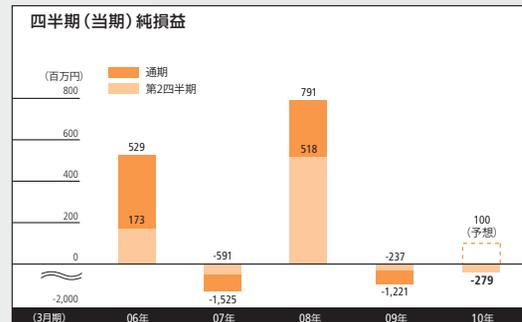
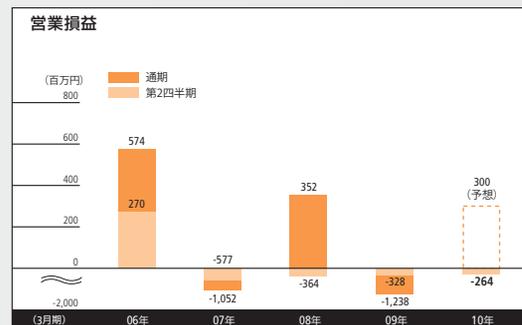
経営の原点に立ち返り、株主の皆さまからのご期待に応えていきます。

当社では、当期を原点回帰の年と捉え、「音とゲームと映像を融合させた新しいエンターテインメントの創造」という経営理念に再度立ち返ります。当社グループを取り巻く大きな変化に迅速に対応し、高収益体質への転換とさらなる成長に向けた戦略を着実に実行することで、株主の皆さまに対して中長期観点で安定的な利益の還元を実現してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、さらなるご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

2009年12月

代表取締役社長
中山 晴喜



事業概況 音楽映像事業

市場の縮小に伴うDVD受注減、子会社におけるアニメーションの受託制作減により減収。一方で、コンテンツ償却費や製造原価の圧縮により、利益率は大幅に改善。



真・恋姫＋無双

市場減退の中、主力シリーズの安定した実績とコスト削減の徹底により利益確保

音楽事業においては、「プリキュア」シリーズの企画音楽が引き続き好調に推移したほか、専属アーティスト「中河内雅貴」、「古川雄大」、「vistlip」の楽曲などを中心に商品を編成しました。

映像事業においては、前期に引き続き「ミュージカル『テニスの王子様』」関連DVDなどの映像商品化を行ったほか、新たに「フレッシュプリキュア!」、「タユタマ」、「宙のまにまに」などの映像商品化を行いました。

しかしながら、市場縮小に伴うDVDの受注減、子会社アートランドにおけるアニメーション受託制作の受注減などにより、前年同期と比較して売上は減少しました。一方で、コンテンツ償却費や製造原価の圧縮を推進したことなどにより、利益は増加しました。

これらの結果、当中間期の音楽映像事業の業績は、売上高16億8百万円(前年同期比9.7%減)、営業利益2億34百万円(同62.0%増)となりました。

新旧ライブラリを活用した商品構成の多様化による利益追求

映像ソフト市場が低迷する中、ブルーレイ市場は顕著な成長を示しており、当社もその編成を強化します。当社で初めてDVDとブルーレイの同時発売を行った「タユタマ」での手応えを受け、下期編成の「真・恋姫＋無双」、「11eyes」も同時発売を予定しています。

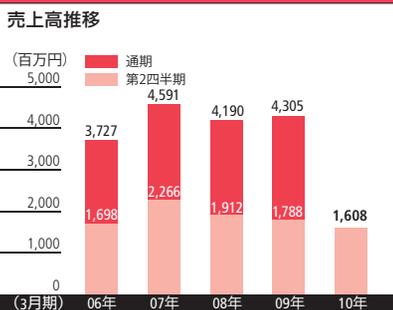
また、併せて旧作ライブラリの活用も進め、前期に発売した「蟲師」に続き、当社の主力コンテンツのひとつである「GUNSLINGER GIRL」のブルーレイBOXを2009年10月に発売しました。また、放送4年目に突入した「家庭教師ヒットマンREBORN!」は、初のDVD-BOXを2009年6月に発売し、2010年3月には第2弾の発売を予定しています。

今後も、新たな市場への対応と、コンテンツライブラリを最大限活用することにより、商品構成を多様化し、収益機会の拡大に努めていきます。

下期の
主力作品

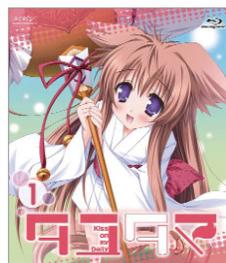


11eyes



人気シリーズ「家庭教師ヒットマンREBORN!」は、2009年10月で放送開始から4年目に突入し、依然高い人気を保っています。2009年6月には、初のDVD-BOX「家庭教師ヒットマンREBORN! DVD Bullet BOX」を発売し、受注も好調に推移しました。

家庭教師ヒットマンREBORN!
未来編[X]



人気のPCゲームを原作としたTVアニメで、2009年4月～6月に放送されました。メディアの変化への対応施策の一つとして、当社初となるDVD・ブルーレイの同時発売を行い、受注実績も堅調に推移しました。

タユタマ



2008年12月～2009年3月に行われた四天宝寺公演(後期)を収録しています。本作の発売をもって、「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズDVDの累計出荷本数が50万本を突破しました。

ミュージカル『テニスの王子様』
The Treasure Match 四天宝寺 feat. 氷帝
Ver. 青春5代目VS四天宝寺B

事業概況 デジタル コンテンツ事業

マーベラスブランドの確立に向けた
強力タイトル、ワールドワイド向け大型タイトルの編成拡大。

国内外で新作23タイトルを発売 厳しい市況の中、販売伸長に苦戦

国内においては、新作オリジナルタイトル「朧村正 (Wii)」、「勇者30 (PSP)」など13タイトルを発売しました。海外においては、英国子会社で「Little King's Story (Wii)」（邦題：王様物語）など7タイトル、米国子会社で「VALHALLA KNIGHTS ELDAR SAGA (Wii)」など3タイトルを発売しました。

ワールドワイド向けの大型タイトルの編成に伴い1タイトル当たりの制作費が増加する一方で、国内外におけるゲーム市場の縮小に伴い総出荷本数が軟調となったことや、海外市場において予想を超える大幅な値引きが発生したことなどにより売上は微増に留まり、前年同期と比較して損失幅が拡大しました。

これらの結果、当中間期の業績は、売上高19億81百万円(前年同期比1.7%増)、営業損失2億24百万円(前年同期は営業損失1億65百万円)となりました。

マーベラスブランドを担う、オリジナル作品の創出

厳しい市況の中で、販売拡大には苦戦を強いられているものの、ブランド力の向上に向けた質の高い商品開発を目指す中、当上期に発売したオリジナル新作はいずれも国内外で高い評価をいただくことができました。特に、「朧村正 (Wii)」、「勇者30 (PSP)」、「アークライズ ファンタジア (Wii)」、「王様物語 (Wii)」などは、国内ゲーム専門誌での高い評価をいただき、マーベラスブランド向上の一翼を担いました。

また、下期においてもオリジナル新作の「サクラノート (DS)」や、「ルーンファクトリー3 (DS)」、「ルミナスアーク3アイズ (DS)」、「牧場物語 ふたごの村 (DS)」など実績あるオリジナル作品の続編、「PostPetDS 夢見るモモと不思議のペン (DS)」、「Fate EXTRA (PSP)」など強力な版權作品をラインナップしており、引き続きブランド力の強化と商品の拡販に努めていきます。

下期の
主力作品



牧场物語 ふたごの村
(ニンテンドーDS)



Fate EXTRA (PSP)



豪華絢爛な和風世界の中で、妖刀をめぐる繰り広げられる剣劇アクションRPG。当社の新たなオリジナル作品として2009年4月に発売されました。9月には北米でも発売され、海外の大手ゲーム誌・ゲームサイトから高い評価を得ています。

朧村正 (Wii)
(海外名: Muramasa: The Demon Blade)



魔王が世界を滅ぼすまで、あと30秒!ジャンルの異なる4つのゲームモードを搭載し、それぞれのストーリーと豊富なやり込み要素を楽しめる超速RPG。2009年5月に国内で発売され、その独創性が評価されました。海外での評価も高く、10月には北米でも発売されました。

勇者30 (PSP)
(海外名: Half-Minute Hero)



プレイヤーが王様となり、国民たちを引き連れて自分の国を大きくしていく王国ワラワラRPG。海外市場をメインターゲットとした当初のタイトルとして、2009年4月に欧州、7月に北米、9月に国内で発売されました。

王様物語 (Wii)
(海外名: Little King's Story)

©2010 Marvelous Entertainment Inc. All rights reserved. ©TYPE-MOON ©2010 Marvelous Entertainment Inc.
©2009 Marvelous Entertainment Inc. ©2009 Marvelous Entertainment Inc. All rights reserved.

事業概況 舞台公演事業

拡大戦略から効率化戦略へ。
戦略転換により、収益性の回復に注力。

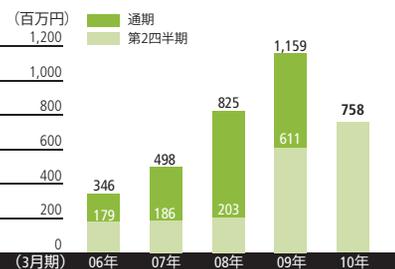
下期の
主力作品

ミュージカル
『テニスの王子様』
The Final Match
立海 Second feat.
The Rivals



マリア・マグダレーナ
再来日公演
『マгдаラなマリア』
～マリアさんは2度くらい死ぬ！
オリエンタルサンシャイン急行殺人事件～

売上高推移



前期の不採算を引き摺ったものの、今期公演は順調に推移

舞台公演事業においては、前期末に公演した「ミュージカル『テニスの王子様』The Treasure Match 四天宝寺 feat. 氷帝」の後半公演、2009年5月の「ミュージカル『テニスの王子様』コンサート Dream Live 6th」、2009年7月からスタートした「ミュージカル『テニスの王子様』The Final Match 立海 First feat. 四天宝寺」の前半公演、全102公演分の実績を計上しました（前年同期は81公演分の実績計上）。

前期末の公演において一部の地方公演で集客に苦戦したことが利益を圧迫いたしました。今期開催の公演においては観客動員数が順調に推移しました。

これらの結果、当中間期の業績は、売上高7億58百万円（前年同期比23.9%増）、営業利益45百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

「ミュージカル『テニスの王子様』」累計観客動員数100万人突破へ

2003年に初舞台の幕を開けた「ミュージカル『テニスの王子様』」は、この夏に公演された「ミュージカル『テニスの王子様』The Final Match 立海 First feat. 四天宝寺」の実績を受け、累計観客動員数は90万人を突破しました。原作の節目となる全国大会決勝戦を描いた次回作、「ミュージカル『テニスの王子様』The Final Match 立海 Second feat. The Rivals」では、いよいよ累計観客動員数100万人を突破する見込みです。「ミュージカル『テニスの王子様』」はシリーズのDVD販売もすでに累計50万本を超えており、事業間に渡って当社の収益の柱となるメガヒットコンテンツとなりました。このメガヒットコンテンツで培った経験を活かし、新たな柱となるコンテンツの創出と「ミュージカル『テニスの王子様』」のさらなる発展に向け、引き続き取り組んでまいります。



ミュージカル『テニスの王子様』
コンサート Dream Live 6th

ミュージカル『テニスの王子様』の楽曲を中心に、歌・ダンス・パフォーマンスでお届けする年に一度の祭典「Dream Live」。6回目となった本公演は、2009年5月に東京体育館と神戸ワールド記念ホールにて開催されました。



ミュージカル『テニスの王子様』
The Final Match 立海 First feat. 四天宝寺

2009年7月～10月にかけて、全国6都市で公演されました。初の試みとして、千秋楽公演のライブビューイング（同時生中継）を全国19ヶ所の映画館で実施し、これまで「テニミュ」をご覧いただいたことのないお客さまにも多くご鑑賞いただきました。

連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	前中間期末 2008年9月30日現在	当第2四半期末 2009年9月30日現在	前期末 2009年3月31日現在
資産の部			
流動資産	7,041	5,801	5,870
現金及び預金	1,100	1,280	1,109
受取手形及び売掛金	1,422	941	1,243
映像コンテンツ	178	165	153
デジタルコンテンツ	3,007	2,686	2,555
その他	1,388	765	857
貸倒引当金	△55	△38	△47
固定資産	793	942	860
有形固定資産	210	219	187
無形固定資産	195	120	150
投資その他の資産	387	602	522
資産合計	7,835	6,743	6,731
負債の部			
流動負債	5,449	5,166	5,431
支払手形及び買掛金	693	707	818
短期借入金	2,450	2,583	2,281
1年内返済予定の長期借入金	400	8	400
その他	1,905	1,867	1,930
固定負債	6	77	8
長期借入金	—	69	—
その他	6	7	8
負債合計	5,455	5,244	5,440
純資産の部			
株主資本	2,326	1,541	1,321
資本金	878	1,128	878
資本剰余金	880	1,129	880
利益剰余金	573	△688	△409
自己株式	△5	△27	△27
評価・換算差額等	△22	△42	△44
少数株主持分	75	—	14
純資産合計	2,379	1,499	1,291
負債純資産合計	7,835	6,743	6,731

四半期連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	前中間期 2008年4月1日～ 2008年9月30日	当第2四半期累計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日	前期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	4,341	4,347	10,139
売上原価	3,298	3,357	8,523
売上総利益	1,042	990	1,616
販売費及び一般管理費	1,371	1,255	2,854
営業利益又は営業損失(△)	△328	△264	△1,238
営業外収益	49	1	4
営業外費用	27	37	74
経常利益又は経常損失(△)	△307	△300	△1,308
特別利益	20	9	23
特別損失	—	3	104
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△286	△295	△1,389
法人税等	1	1	△71
少数株主利益又は損失(△)	△50	△17	△96
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△237	△279	△1,221

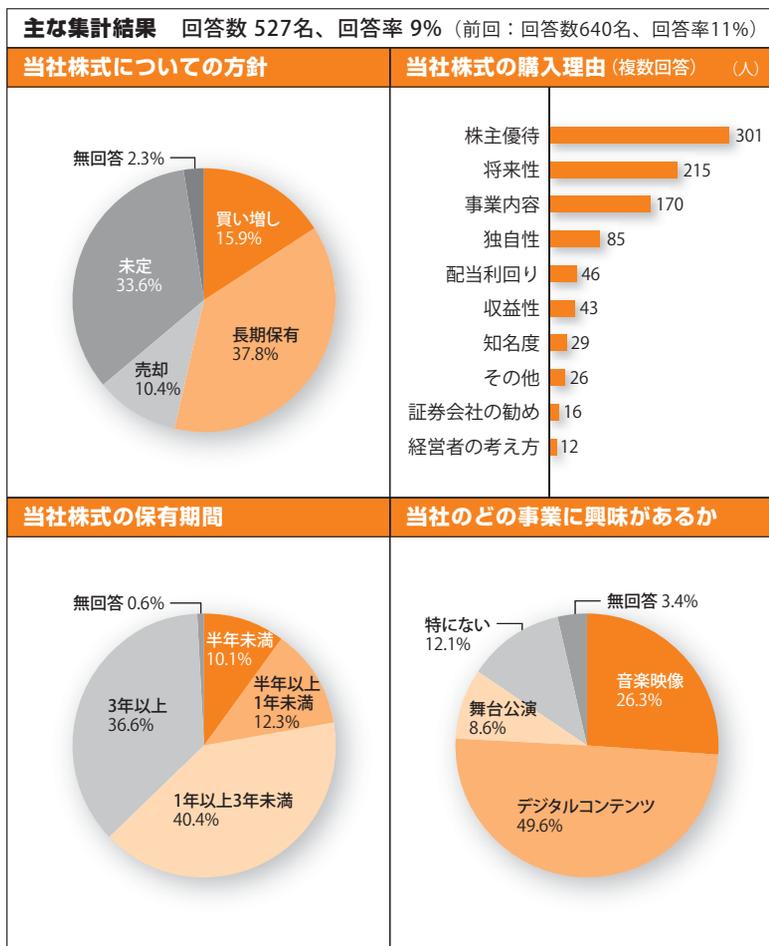
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	前中間期 2008年4月1日～ 2008年9月30日	当第2四半期累計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日	前期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,304	△167	△1,038
投資活動による キャッシュ・フロー	△69	△123	△153
財務活動による キャッシュ・フロー	1,111	471	937
現金及び現金同等物に 係る換算差額	28	△8	28
現金及び現金同等物の 増加(減少△)額	△234	171	△225
現金及び現金同等物の 期首残高	1,334	1,109	1,334
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,100	1,280	1,109

アンケート結果のご報告

「Business Report 2009年3月期（第12期）のご報告」に同封しましたアンケートに多数のご回答をいただき、誠にありがとうございました。アンケート結果の一部をここにご報告するとともに、頂戴した貴重なご意見・ご要望は、今後の事業活動ならびにIR活動に活かしていきます。今後とも、通期の報告書において年1回のアンケートを実施していきますので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。



株主アンケートQ&A （ご意見）

業績回復に向けた各種経費削減施策の実施効果について教えてください。

主に、本社移転や組織の合理化により、当上期においては、前年同期と比べ約9,400万円の経費削減を実現し、計画を上回る推移となっています。下期以降も、大型宣伝イベントへの出展中止などにより、さらなる経費削減効果を見込んでいます。

バランスシートの改善を図ってください。

中期の基本方針のひとつに財務体質の強化を掲げ、「対売上高有利子負債比率」、「対売上高コンテンツ資産比率」、「自己資本比率」の3つの目標指標を定め、バランスシートの改善に努めています。中長期の目標指数として、対売上高有利子負債比率は17.4%（2009年3月期実績は26.4%）、対売上高コンテンツ資産比率は22.9%（同26.7%）、自己資本比率は30.0%（同19.0%）を目指します。

アニメ配信やゲームのダウンロード販売に力を入れてください。

映像配信につきましては、北米の大手動画共有サイト「crunchyroll（クランチロール）」、PlayStation3およびPSP向けのオンラインサービス「Playstation Store」、大手動画共有サイト「ニコニコ動画」内の当社公式チャンネル「まべちゃん」などにおいて、アニメーション作品を中心とした当社映像ライブラリの配信を開始するなど積極的に取り組んでいます。ゲームのダウンロード販売につきましては、当社初のWiiウェア向けソフトとして当上期に3タイトルを発売したほか、過去に発売したゲーム作品のダウンロード販売を開始するなど、ライブラリのマルチ展開による収益機会の拡大を図っています。

株主優待のご案内

前期については下記の内容で株主優待を実施しました。当期の株主優待については、内容が決まり次第発表します。

- 【1株～4株】所有株式1株～4株の株主さまに対して以下 1 ～ 3 より1商品を贈呈
- 【5株～9株】所有株式5株～9株の株主さまに対して以下 1 ～ 7 より1商品を贈呈
- 【10株～19株】所有株式10株～19株の株主さまに対して以下 1 ～ 11 より1商品を贈呈
- 【20株～】所有株式20株以上の株主さまに対して以下 1 ～ 11 より2商品、または 12 を贈呈

所有株式数1株以上の株主さま対象商品

<p>1 フレッシュプリキュア!主題歌 「Let's!フレッシュプリキュア!/ You make me happy!」</p>  <p>CD シングル</p>	<p>2 遊戯王5D's オープニングテーマ 「LAST TRAIN -新しい朝-」</p>  <p>CD シングル</p>	<p>3 古川雄大 「SUNDAY」</p>  <p>CD シングル</p>
---	--	--

所有株式数5株以上の株主さま対象商品

<p>4 中河内雅貴 「Cheers!!」</p>  <p>CD アルバム</p>	<p>5 Yes!プリキュア5GoGo! 「Yes!プリキュア5GoGo! ボーカルベスト!!」</p>  <p>CD アルバム</p>	<p>6 「ぶるるんっ!しずくちゃん あはっ☆ DSドリル算数」</p>  <p>ニンテンドー DS ゲームソフト</p>	<p>7 「勇者30」</p>  <p>PSP ゲームソフト</p>
---	--	---	---

所有株式10株以上の株主さま対象商品

<p>8 家庭教師ヒットマンREBORN! 「家庭教師ヒットマンREBORN! 未来編 [X] X-Burn.1」</p>  <p>DVD</p>	<p>9 Yes!プリキュア5GoGo! 「映画Yes!プリキュア5GoGo! お菓子の国のハッピーバースティ」</p>  <p>DVD</p>	<p>10 「牧場物語 ようこそ!風のバザールへ」</p>  <p>ニンテンドー DS ゲームソフト</p>	<p>11 「牧場物語 シュガー村とみんなの願い」</p>  <p>PSP ゲームソフト</p>
--	---	---	--

所有株式20株以上の株主さま対象商品

12 弊社主催ミュージカルペアチケット

©ABC・東映アニメーション ©高橋和希 スタジオ・ダイス/集英社・テレビ東京・NAS ©MMV ©クーリア/しずくちゃんプロジェクト・テレビ東京 ©2008 Marvelous Entertainment Inc. ©2009 Marvelous Entertainment Inc. ©天野明/集英社・テレビ東京・リボン製作委員会 ©2008 映画Yes!プリキュア5GoGo!製作委員会 ©2008 Marvelous Entertainment All Rights Reserved.

株式概要

(2009年9月30日現在)

会社の状況

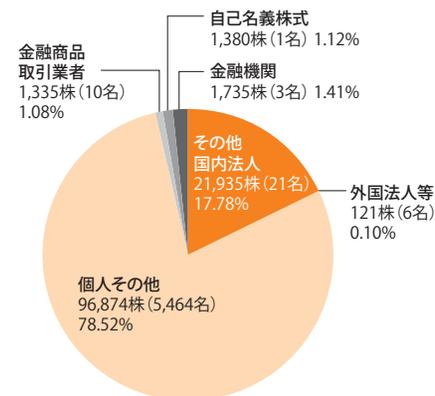
発行済株式の総数..... 123,380株
株主総数..... 5,505名

大株主の状況(上位10位)

株主名	所有株式数の割合(%)
中川晴喜	44.78
株式会社アミューズキャピタルインベストメント	14.91
株式会社ポニーキャニオンエンタープライズ	1.29
日本生命保険相互会社	1.29
株式会社マーベラスエンターテイメント(自己名義株式)	1.11
松本慶明	0.70
株式会社ムービック	0.64
株式会社東北新社	0.64
個人株主	0.56
青木利則	0.55

※ 個人情報保護の観点から、株主さまの個人名を記載する代わりに、「個人株主」と表記しております。

株式所有状況



会社概要 (2009年9月30日現在)

会社名	株式会社マーベラスエンターテイメント	
証券コード	7844	
設立	1997年6月25日	
資本金	1,128,472,136円	
本社所在地	〒140-0002 東京都品川区東品川 4-12-8 品川シーサイドイーストタワー5階 TEL: 03-5769-7447 (代表) FAX: 03-5769-7448 (代表)	
事業内容	音楽・映像・ゲームソフトの企画・制作・販売、劇場演芸の興行ほか	
従業員数	157名(連結) 92名(単体)	
連結子会社	株式会社デルファイサウンド 株式会社アートランド Rising Star Games Limited Marvelous Entertainment USA, Inc.	
役員	代表取締役	中山 晴喜
	常務取締役	松本 慶明
	常務取締役	青木 利則
	取締役	和田 康宏
	取締役	片岡 義朗
	常勤監査役	舟越 肇
	監査役	西村 勝彦
	監査役	中陳 道夫



Marvelous Entertainment Inc.

株式会社 マーベラスエンターテイメント

証券コード: 7844

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主確定日	毎年3月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
公告方法	電子公告により行います。 (URL: http://www.mmv.co.jp) 但し、電子公告によることができない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-288-324 (フリーダイヤル) 受付時間: 土・日・祝日を除く9:00～17:00
ホームページURL	http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou

ホームページのご案内

マーベラスエンターテイメントグループはホームページにて即時情報開示に努めています。ぜひご覧ください。



<http://www.mmv.co.jp>

企業モバイルサイトでも、イベントやリリース情報などをご確認いただけます。



<http://mobile.mmv.co.jp>



この冊子は森林認証紙に
アメリカ大豆協会認定の大豆油インキで印刷されています。